

ホームページ 開催

比較思想学会 第47回 大会プログラム

2020年6月27日（土）

■6月27日

- 個人研究発表
- 基調講演・シンポジウム

個人研究発表

1. 「西田とフッサールの身体論・・・その近さと遠さ」

鈴木康文（石川工業高等専門学校一般教育科嘱託教授）

2. 「近世移行期における心身を基盤とした発達論的思想の比較考察——山崎闇齋とメーヌ・ド・ビランの「身体と魂」の文脈より——」

久保隆司（早稲田大学文学学術院非常勤講師）

3. 「柳宗悦と西田幾多郎——純粹経験および行為的直観の柳における受容——」

足立恵理子（京都大学大学院文学研究科）

4. 「〈エ芸の美〉と宗教的協同——柳宗悦の「協団」とウィリアム・モリスの「フェローシップ」——」

島貫悟（東北大学大学院国際文化研究科）

5. 「熊十力『新唯識論』に見る「心」と「体」——仏教と儒教の挟間にある「心」の概念——」

胡婧（上智大学大学院文学研究科）

6. 「黒田眞洞著『大乘仏教大意』による日本仏教理解の促進」——マックス・ミュラーの『東方聖典』への引用を介してのラフカティオ・ハーンの仏教観への影響——」

鷹司誓榮（佛教大学大学院文学研究科）

7. 「高神覚昇から読み解く西田哲学——「仏に於て自己を見出す」と「場所」

坂本慎一（PHP研究所・研究コーディネーター）

8. 「「生の哲学」に留まった者たちと、「死の哲学」へと突き進んだ者——南原繁・福田歓一、ハイデガー、そして田辺元——」

田淵舜也（慶応義塾大学院法学研究科）

9. 「和辻哲郎と西田幾多郎における自己とその宗教性」

邱奕菲（立正大学大学院文学研究科）

10. 「風土の人間存在論と決定論の問題——和辻哲郎の環境論とヴィダル・ド・ラ・ブラーシュの地理学——」

増田敬祐（東京農業大学嘱託教授）

シンポジウム

テーマ：「比較思想としての近代仏教学」

趣旨説明：佐藤裕之（武蔵野大学 教授）

基調講演：石上和敬（武蔵野大 教授）

講題：「高楠順次郎における海外—海外体験とその果実」

シンポジスト①：種村隆元（大正大学 教授）

講題：「比較思想から見た密教研究」

シンポジスト②：陳継東（青山学院大学 教授）

講題：「仏教と哲学—章炳麟と妻木直良の交流を通して」

シンポジスト③：碧海寿広（武蔵野大学 准教授）

講題：「昭和初期の仏教／キリスト教論争—高楠順次郎を中心として」

比較思想学会事務局

〒170-8470 東京都豊島区西巣鴨3-20-1 大正大学文学部西洋哲学研究室内